日本証券業協会 JSDA Japan Securities Dealers Association

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

News Release

2024 年 4 月 17 日

報 道 関 係 者 各 位

日 本 証 券 業 協 会

証券業界「株主優待 SDGs 基金」における 2023 年度分の寄付の実施及び 2024 年度の支援先の決定について

本協会では、証券業界における株主優待を活用した SDGs を推進する施策として、2019 年４月１日付で「株主優待 SDGs 基金」（以下、「本基金」という。）を設置しております。

本基金は、会員証券会社等が株主優待を活用して得た資金等の寄付を原資としており、今般、2023 年度中に集められた資金 34,437,577 円を、飢餓をゼロにすることを使命とする国連唯一の食料支援機関である「WFP 国連世界食糧計画」（以下、「国連 WFP」という。）及び日本各地で植樹や森林の手入れ等の森林整備等の支援を行う公益社団法人国土緑化推進機構が実施する「緑の募金」（以下、「緑の募金」という。）の２先へ寄付いたしましたことをお知らせします。

また、2024 年度の本基金の支援先については、2023 年度から引き続き「国連 WFP」及び、「緑の募金」の２先に決定いたしましたことをお知らせします。

今後も、証券業界では、SDGs の更なる推進に向け様々な施策を実施していく所存ですので、関係各位におかれましてもご理解のほどよろしくお願いいたします。

記

１．寄付金額

34,437,577 円

２．2023 年度に本基金への寄付を行った会員等：17 社

岩井コスモ証券株式会社、エーディーエヌ・アムロ・クリアリング証券株式会社、
au カブコム証券株式会社、株式会社ＳＢＩ証券、株式会社岡三証券グループ、
共和証券株式会社、光世証券株式会社、株式会社大和証券グループ本社、
東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社、長野證券株式会社、
中原証券株式会社、野村證券株式会社、丸三証券株式会社、
みずほ証券株式会社、水戸証券株式会社、むさし証券株式会社、
楽天証券株式会社

以　上

○　本件に関するお問い合わせ先：SDGs 推進本部 SDGs 推進室（TEL：03-6665-6783）

【参考１】株主優待 SDGs 基金の概要

株主優待SDGs基金

１．基金の目的

株主優待等を利用して、国際連合が提唱する国際社会全体の目標である SDGs に係る社会的課題に取り組む者を支援し、もって国際社会における SDGs の達成に資することを目的といたします。

２．基金の原資

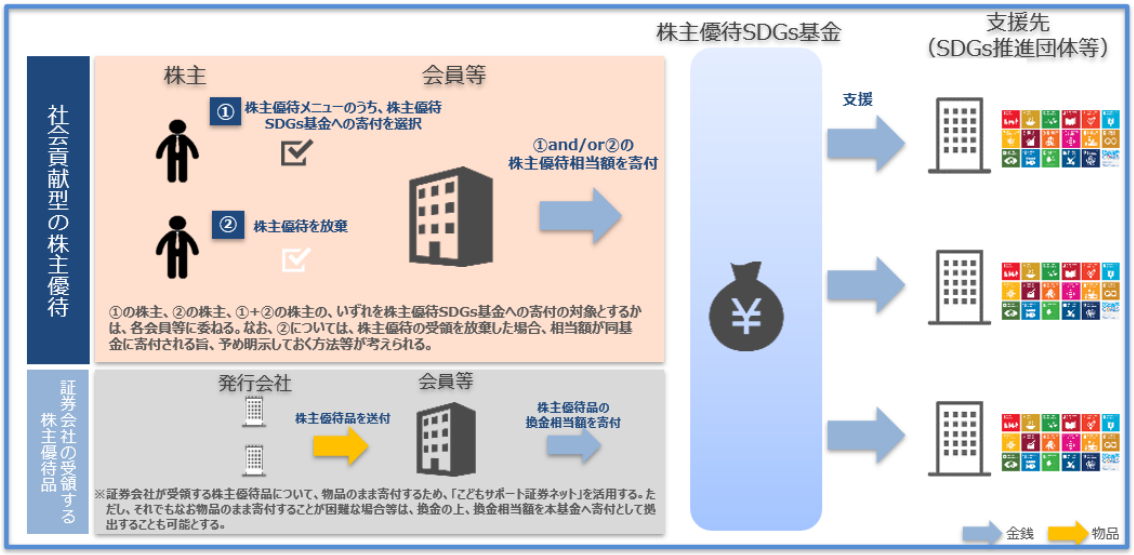
本基金は本協会の会員等からの以下に掲げる寄金を原資といたします。

- 会員等が本基金を寄付先とする社会貢献型の株主優待を実施することにより本基金に寄付した金銭
- 会員等が上場会社の株主である場合に、当該上場会社から取得した株主優待品を換金して得た金銭を本基金に寄付したときの当該金銭

３．基金の使途

本基金の支援先は、関係者で協議の上、SDGs の達成に寄与すると認められる活動を行う機関の中から選定し、支援先に対して本基金から寄付金を拠出します。

図表：株主優待 SDGs 基金のイメージ図



- 日証協内に株主優待ＳＤＧｓ基金を設置。
- 本施策に賛同する会員及び会員の持株会社（会員等）が同社株主に対して提供する株主優待メニューの一つとして「株主優待ＳＤＧｓ基金への寄付」を設け、同基金は以下の株主優待相当額を原資とする寄付を受け入れる。
  ①当該メニューを選択した株主に係る株主優待相当額
  ②株主優待品の受領を放棄した株主に係る株主優待相当額
  なお、同基金は**会員等が受領する株主優待品の換金相当額**を原資とする寄付も受け入れる。
- 同基金は、こうして集まった資金を、ＳＤＧｓの目標に照らして適切なところとして選定した団体等の活動を支援するための寄付として拠出する。

日本証券業協会
東京都中央区日本橋二丁目11番2号　〒103-0027
https://www.jsda.or.jp

10/4（とうし）は証券投資の日
とうしくん

【参考２】国連 WFP の概要

１．国連 WFP の概要

（１）設立

貧困と飢餓をなくすことを目的として 1961 年に設立された国連唯一の食料支援機関（本部：ローマ）。

（２）支援対象

災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養不良のこども、病人など、最も貧しい暮らしを余儀なくされている人々を支援の対象。

（３）主な活動内容

緊急食料支援、母子栄養支援、学校給食支援、自立支援等の様々な食料支援活動を実施。

２．支援の概要

（１）支援先の寄付金の資金使途

学校給食（一食約 30 円）の支援

（２）支援により期待される効果

- こどもの栄養状態を改善し、勉強への集中力を向上。
- 家事等のため家に留め置かれがちで学校へ通えない女子の就学を促す。
- 教育の普及により、国の安定と発展に寄与。

（３）貢献する SDGs

３．備考

国連 WFP は、飢餓と闘う努力、紛争地域における平和に向けた状況改善への貢献、“飢餓”が紛争や内戦の武器として利用されることを阻止する努力が評価され、2020 年のノーベル平和賞を受賞。

【参考３】緑の募金の概要

１．緑の募金の概要

（１）設立

豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれる森林は、国内でも手入れ不足等によって森林が本来のはたらきを発揮できていない状況にあり、国民ひとりひとりのご支援を身近な地域や国内外の森づくりにつなげ、さまざまな「森づくり・人づくり」活動の活性化に活かすために創設。

（２）支援対象

国内外の緑を健全にするための活動を行う森林ボランティア団体、NPO、事業体等（2022 年度の支援団体数：242 団体）。

２．支援の概要

（１）支援先の寄付金の資金使途

主に、植樹・保育・間伐等の森林整備活動、水源林整備活動等、国内の「森林整備」に関する活動を行う当機構において採択された団体への支援。

（２）支援により期待される効果

- 身近な地域の緑化活動、適切な森林整備による地球温暖化の抑制。

（３）貢献する SDGs